

合宿での学び
 愛知 洗心道場
 中 石原 稜 晟
 全日本少年剣道錬成会館に入ると、たくさ
 んの人がいて少し緊張していました。ですが
 いる人な人に声をかけてもらい、緊張がほぐ
 れ、安心して合宿に臨むことができました。
 一番最初の開講式では、誰ともあまりしや
 べることができませんでした。けれど、稽古
 をしていくうちに、だんだん友情が深まり、
 一日目の夜にはもうすっかり友達になりまし
 た。同じ部屋のふともあまりしやべれないか
 なあと感じていたけど、すぐに仲良くなり、
 一日目から楽しい時間を過ごすことができま
 した。
 そして稽古ではただやるのではなく、基本
 からしっかりと細かく細かく教わり、正しい
 剣道を身に付けることができました。また、
 正しい剣道からくずさないように、心じ技や
 打ち込み、掛り稽古をやり、普段は気にして

いなかっ。たこともここでは意識してやること
ができました。そしてこの合宿では剣道だ
けでなく、正しい生活や礼義なども教えて
いた。だいたいで、これからの生活にかして
いけたらいいなと思いましたが。
二日目の緒方先生の講話では、人を思う
気持ちや、志について、正しい剣道とは何か
などを聞いて、すごく心に残る言葉などもた
くさんありました。特に心に残った言葉が、
「一揆一揆」
という言葉です。この言葉を胸に、これから
挨拶をこころがけていきたいと思います。
豊村先生の木刀による剣道基本技稽古法で
は、ぼくは木刀をやったことがなかつたので
すが、講師の先生方の指導が分かりやすかつ
たので迷わず行うことができました。また、
相手についてくれた静岡の太石くんが、
「ここはこうするんだよ。」
「こうやってやる」といいます。
などと、アドバイスをしてくれて、すごくや

りやすかったです。木刀以外でも、友達がい
ろいろと声をかけていた。ただ、い
してやるのができませんでした。
三日目の試合練習では、ほくだけ二回やら
せてもらい、稽古では、すぐく亮実した稽古を
する。ところが、できませんでした。最後の掃除でも、都部
屋のみんなと協力してやるのができ、都部
先生に、
「今見てきた中で一番きれい。」
と言われたときは、嬉しかったです。
この合宿で教わったことを、これから稽
古に生かし、中学でもがんばりたいと思いま
す。